

KADENA SKOSHI

NOVEMBER 2008 Vol. 2

第18航空団広報局発行

2008年嘉手納スペシャルオリンピックス大会迫る！

嘉手納スペシャルオリンピックス大会
日時：11月8日（土曜日） 午前9時45分開会式
場所：嘉手納基地ライズナー体育施設（陸上競技場他）

*台風等の悪天候の際は、11月15日（土）に延期致します。

沖縄の障害のある人々のためスポーツ大会や美術作品展示会を開催することにより、嘉手納基地と地域の方々の交流を目的とした嘉手納スペシャルオリンピックス大会が今年も開催されます。

去った10月11日にはボウリング競技が、また23日から26日にサンエー具志川メインシティーにおいて行われた美術作品展示会が無事に終了致しました。そして、いよいよ11月8日の本大会を残すのみとなりました。現在、スタッフ、ボランティアの方々、そしてアスリート全員が大会へ向けて準備を整えているところです。今年もきっと、楽しい大会になるでしょう！

今月・来月号でその様子を紹介して行きたいと思います。

毎年、大会を成功させるために様々な活動が行われます。

Part I

嘉手納スペシャルオリンピックス大会 1

嘉手納スペシャルオリンピックス大会 2
ボウリング競技大会

嘉手納スペシャルオリンピックス大会 3
美術作品展示会

アメリカンカルチャー

季節の行事：ハロウィンと感謝祭

Part II

!!! 今月の SpotLIGHT

嘉手納基地で働く様々な職種の日本人従業員にスポットをあてて毎月紹介して行くコーナーです。意外な発見があるかも...必見です！

不発弾撤去作業行われる

嘉手納基地隊員・日本側合同救難訓練

北谷町、嘉手納基地内の史跡を視察

(写真提供：嘉手納スペシャルオリンピックス)

T-shirts Packaging



選手のためのTシャツの準備



ボランティアによって、選手のTシャツ、ゼッケン等の名入れ・袋詰めを行います。更に、それぞれの施設・学校別に箱詰めし、その殆どがボランティアによって届けられます。

Tip-a-Cop チップ・ア・コップ

その日、或る時間帯、憲兵隊員がレストランに待機し、ウェイトレスやウェイターが貰うはずのチップは全てその隊員に渡されます。すべてのお金は憲兵隊をとおして嘉手納スペシャルオリンピックスへ寄付されます。



Fill the Boot

フィル ザ ブーツ

嘉手納基地消防隊による募金活動で、募金箱ではなく、彼らの使っているブーツに募金してもらいます。

DONATIONS

募金活動

基地内の様々な場所・人々がそれぞれに工夫を凝らした募金活動を行います。もちろん、子供たちやマスコットもお手伝いします。



5K Fun Run

5k ファン・ラン

文字通り、5キロを楽しく走ります。参加費は嘉手納スペシャルオリンピックス大会の為に使われます。



Kadena
Special Olympics

CHARITY GOLF

チャリティー・ゴルフ



DONATIONS

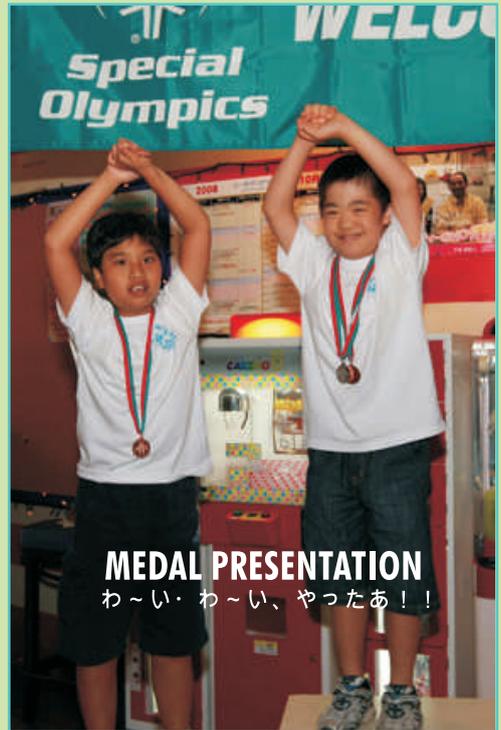
嘉手納スペシャルオリンピックス・ボウリング競技 KSO BOWLING GAME AT MIHAMA

(写真提供：嘉手納スペシャルオリンピックス、チップ・スタイツ氏)



写真左より、嘉手納スペシャルオリンピックス・スポーツ競技責任者：サイザーさん、同実行委員：セフケ少佐、普久原さん、スクールコーディネーター・兼城さん

嘉手納スペシャルオリンピックス本大会に先立ち、プレイイベントとして、10月11日、北谷町シーサイドボウル美浜にて、ボウリング競技大会が行われました。出場者の年齢層は幅広く、総勢172名がそれぞれのカテゴリーで腕を競い合いました。表彰台の上でメダルを貰って大喜びする選手たち、ボランティアに手伝ってもらって、はにかみながらも一生懸命プレイする選手たち、どの選手の顔も輝いていました。また、傍らで応援する友達や家族、スタッフらの大声援も選手たちを大いに奮い立たせ、大会を更に盛り上げてくれました。今年もまた、English・日本語・ウチナーグチちゃんぶるーの楽しい大会となりました。



MEDAL PRESENTATION
わ~い・わ~い、やったあ!!



SEASIDE BOWL MIHAMA

(米空軍・クリス・ハモール三等軍曹撮影)

ボウリング大会の様子。少し緊張気味の選手も見受けられましたが、みんなやる気満々!



ピ————ース!!



いとせ君、メダルとりました!



CHEERING

嘉手納中学校の皆さんの応援にも熱が入ります! がんばれ~

嘉手納スペシャルオリンピックスWEB サイト http://kadenaspecialolympics.com/index_files/Page3206.htm



VOLUNTEER

ボランティアのお兄さん達が一緒に居てくれるので安心!

(米空軍・クリス・ハモール三等軍曹撮影)

嘉手納スペシャルオリンピックス美術作品展示会 ART EXHIBITION



Kadena
Special Olympics



「色の洪水」イベント会場に一步足を踏み入れると、躍動感に満ち溢れた300点あまりの美術作品が訪れた人々を包み込みます。-----今年も、第9回嘉手納スペシャルオリンピックス 美術作品展がうるま市内のサンエー具志川メインシティにて行われました。10月23日～26日の開催期間中、連日子供達が沢山訪れ、米国人ボランティアと一緒に折り紙を折ったり、絵を描いたり、体験アートのコーナーもありました。

11月8日（土曜日）、嘉手納基地内で開催される、障がい者の祭典、嘉手納スペシャルオリンピックスの前イベントとして行われるこの美術作品展は、基地内の学校に通う障がいを持った子供達、そして県内の養護学校、作業所に通所する障がいを持った人々に、美術作品発表の場と鑑賞の機会を提供するとともに、障がい者と嘉手納スペシャルオリンピックスに対する理解を一般の方々にも深めて頂けるよう、毎年催されています。

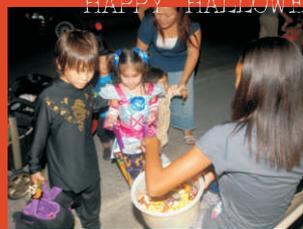
画用紙いっぱい表現された、障がいを持った子供達の様々な一日。小さな画家達の鋭い感性と息づかいが伝わってくる個性豊かな作品の数々。絵画においてもアクリル、パステル、水彩、ちぎり絵、貼り絵、版画、墨絵と、ありとあらゆる絵具を用いて表現し、又、写真、陶芸、木工等の工芸作品においても、その多芸さを披露し、来場者は、場内に展示された三百点余りの作品一つ一つに顔を近づけては、「すごいね」と感想をもらしながら、まじまじと見入っていました。

HALLOWEEN and THANKSGIVING

ハロウィーン



HALLOWEEN



TRICK or TREAT!!

(米空軍：ネスター・クルーズ三等軍曹撮影)



嘉手納基地では毎年ハロウィーン(10月31日)の夜に地元の子供たちが嘉手納基地を訪れ、米国人たちと一緒に「トリック オア トリート」を行う交流活動を支援しています。今年は、安慶田児童館、山内少年野球チーム、レインボーハイツから子供達とその保護者、約100名がアメリカ人ボランティアの案内で基地内の住宅街を回りました。住宅街では工夫を凝らした飾りつけと演出をする家もあり、子供達はハロウィンのお祭りを目の当たりにして終始はしゃいでいました。袋いっぱいのお菓子をもらった子供達は帰りのバスでお互いにももらったお菓子を見せあったり、トリック・オア・トリートの話で大興奮の夜でした。

ハロウィーンと言えば、仮装パーティーやお化け屋敷等を連想しますが、元々はアイルランドのケルト民族の大晦日の行事だったのです。ケルト民族は、一年の終わりの10月31日にその年に亡くなった死者の霊が生きている人々に宿るために戻って来ると信じていました。当然ながら、人々は身を守るため、すべての明かりを消し、霊を追い払うためにお化けの格好をし、大きな音を立てながら村中を歩いたそうです。

“Trick or treat” (トリック・オア・トリート)の習慣は、ヨーロッパのクリスチャン達が、死者へお祈りをささげる代わりに「ソールズケーキ」(魂のケーキ)と呼ばれた干しブドウ入りの四角いパンを恵んでもらうため、村から村へ歩いたのが始まりとされています。



また、“Halloween” (ハロウィン)の名称は、10月31日に祝うカトリック教祖の諸成人の日の前夜祭“All Hallows Eve”に由来するものです。このように、様々な宗教的行事が雑じり合い、現在のようにハロウィンを祝うようになったのです。

ハロウィンの行事は、アイルランド移民によって1840年代にアメリカに伝わったとされています。



感謝祭

“Thanksgiving Day” (感謝祭)は秋の収穫を祝う祝日で、アメリカでは11月の第4木曜日に祝います。感謝祭はイギリスからアメリカのマサチューセッツ州プリマス植民地に移住した開拓者ピルグリムの最初の収穫を記念する祭りに由来します。

親族や友人が集う大切な家族行事のひとつで、アメリカ人にとっては日本のお正月のような行事です。感謝祭前夜から七面鳥を仕込み、当日はローストターキー、ローストハム、パンプキンパイ等の手作りのご馳走を用意し家族や友人たちと祝います。

嘉手納基地では、感謝祭翌日の金曜日にも“Thanksgiving Friday”として祝日扱いとなっており(軍人のみ)、ほとんどの職場では臨時休業となります。感謝祭前日には各職場で職員が食べ物を持ち寄り(ポットラックといいます)午後から盛大な昼食会を開くことが慣習となっています。

この時季、沖縄等の海外に駐留する部隊では、家族や親せきから遠く離れて住んでいる独身や単身赴任の兵士 軍属の人々への配慮から、上司や同僚らが、彼らを自宅へ招いて家庭的な雰囲気の中で一緒に過ごします。また、この日だけは部隊の幹部らが、若い兵士たちへ感謝祭のディナーを振舞うために基地内の食堂で配膳係りを務めます。

(米空軍嘉手納基地写真部撮影)



アメリカでは一般的に、感謝祭から新年までの期間は“Holiday Season”とされています。そして、この季節に恵まれない人々に物を贈る習慣がありますが、それは感謝祭の時期に収穫した豊かな大地の恵みに感謝し、皆でそれを分かち合うという習慣から来ています。この時季、嘉手納基地では、部隊規模、あるいは個人的に寄付金を集めたり、おもちゃ 日用品を集めて、クリスマス頃に地元の福祉 支援施設にプレゼントしています。

Thanksgiving Day

